

La porcelaine de Limoges, 250 ans de création à travers la collection du musée national Adrien Dubouché

平成26年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業
愛・地球博開幕10周年記念
陶祖800年祭フィナーレ事業

2015

1 / 31 SAT — 3 / 15 SUN

開館時間 9時〜17時（入館は16時30分まで）初日は11時開館 休館日 2月10日（火）、3月10日（火）

瀬戸市美術館特別展

華麗な

リモージュ磁器の世界

— アドリアン・デュブーシェ国立美術館収蔵品によるリモージュ磁器250年の歩み —

フランス国立美術館の

至宝が瀬戸に！

主催 瀬戸市・リモージュ市国際交流推進実行委員会、陶祖800年祭実行委員会
公益財団法人瀬戸市文化振興財団、瀬戸市美術館
協力 セーヴル・リモージュ陶磁美術館連合、アドリアン・デュブーシェ国立美術館
後援 在日フランス大使館、アンステイナ・フランス・ジャパン・リモージュ市
入館料 大人…700円（560円…20名以上の団体）
高大人…300円（240円…20名以上の団体）
※小学生以下、妊婦、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料



本誌し、受け鉢／1784〜92年／幅30.6cm
上リリモージュ製陶所

©RMN Grand Palais (Limoges, Cité de la céramique) / Michèle Bellin / distributed by AMB

（本誌）のセット：テーブルセンター／1878年／幅51.0cm
ブイユ製陶所
©RMN Grand Palais (Limoges, Cité de la céramique) / Hervé Lecandowski / distributed by AMB

上：チュルゴー長官の紋章文メダリオン／1771年／径8.8cm
タルレ／マシエ／フルネラ製陶所
©RMN Grand Palais (Limoges, Cité de la céramique) / Jean Gillis Brevet / distributed by AMB

瀬戸市美術館
Seto City Art Museum





第1章 リモージュ磁器の始まり



第2章 産業の夜明け



第3章 リモージュ磁器の黄金期



第4章 アール・ヌーヴオーとしてデザイン

フランス・リモージュ市はヨーロッパを代表する磁器の街として世界的に名高いリムーザン地方の中心都市です。また、瀬戸市とは2003年11月に姉妹都市提携を行っており、これまで様々な交流を行ってきました。

リモージュ市における磁器生産は、1768年にリモージュ近郊のサン＝ティリエ＝ラ＝ペルシュという町で磁器の原料となるカオリンが発見されたことが契機となり、そして1771年、グルレ兄弟が窯を築いたことから始まります。初期の磁器は、種類が少なくデザインもシンプルでしたが、後にはデザインやフォルムが改良され、食器にとどまらず彫刻など芸術性の高い作品も作られています。更に装飾用の新色の開発、そして後に「リモージュの白」と称される透明感ある白色の素地の完成に至り、19世紀後半の万国博覧会によって高い評価を得たことにより、リモージュ磁器は黄金時代を迎えることとなります。19世紀後半から20世紀初頭には、デザイナー、陶工、芸術家が刺激し合い、アール・ヌーヴォーやアール・デコなど実用面だけではなく、モダンで同時代的なデザインとフォルムが追求され、発展し続けていきました。現在でもリモージュ市内には製陶所が数多く存在し、フランスの磁都として栄えています。

「アドリアン・デュブーシェ国立美術館」はリモージュ市に在し、館名ともなっているアドリアン・デュブーシェ(1818～1881)からの寄贈品を中心に、現在では約1万6000点にのぼるコレクションが収蔵されるフランス随一の陶磁美術館です。本展は、この膨大な収蔵品の中から、リモージュ磁器の代表作品を一堂に紹介するものです。

関連事業

- ・講演会「リモージュ磁器の魅力」(仮称)
講師：セリーヌ・ポール氏(アドリアン・デュブーシェ国立美術館館長)
日時：2月1日(日) 13:30～15:00
場所：瀬戸市文化センター文化交流館22会議室
定員：80名(定員を超えた場合は入場をお断りすることもあります。)
※事前申し込み不要、参加費無料
- ・ワークショップ「リモージュの技」(仮称)
講師：エスプリ・ボルスレーズ会員
日時：3月8日(日) 10:00～11:30
場所：瀬戸市文化センター文化交流館22会議室
定員：80名(定員を超えた場合は入場をお断りすることもあります。)
※事前申し込み不要、参加費無料
- ・ギャラリートーク(当館学芸員による作品解説)
日時：2月14日(土)・28日(土) 各日とも13:30～
場所：美術館展示室
※事前申し込み不要、要入館料

近隣施設のご案内

- 瀬戸蔵ミュージアム TEL:0561-97-1190
「古瀬戸後期の様相ー古瀬戸系施釉陶器窯の成立と展開ー」
1月24日(土)～4月5日(日)
- 瀬戸市新世紀工芸館 TEL:0561-97-1001
「瀬戸市新世紀工芸館第11期研修修了作品展・第12期研修生作品展」
1月31日(土)～3月22日(日)
- 瀬戸染付工芸館 TEL:0561-89-6001
「呉須の青を楽しむー瀬戸染付ー」
1月5日(月)～3月30日(月)
- 愛知県陶磁美術館 TEL:0561-84-7474
「愛知ノートー土・陶・風土・記憶ー」
1月10日(土)～3月15日(日)

関連イベント

- ・国際工芸都市シンポジウム
日時：3月7日(土)・8日(日)
場所：瀬戸市文化センター文化交流館

次回展覧会

- せとものフェスタ2015・特別展
「岡部嶺男の陶芸ー瀬戸の伝統そして創造へー」
4月18日(土)～6月28日(日)



交通案内
・JR名古屋駅から(所要時間約1時間)
地下鉄桑名線で「栄」へ。名鉄瀬戸線に乗り換え「栄町」から「尾張瀬戸」下車、徒歩13分。
・「名古屋IC」から「長久手IC」まで(所要時間約30分)
東名高速道路「名古屋IC」から「長久手IC」までを降りて瀬戸方面へ。グリーンロード「愛・地球博記念公園」または「八景IC」まで行き、左折(北)し、瀬戸市街地へ。
・「せと赤瀬IC」から(所要時間約10分)
東海環状自動車道「せと赤瀬IC」を降りて瀬戸方面へ。

瀬戸市美術館
Seto City Art Museum

〒489-0884 愛知県瀬戸市西沢町113-3 TEL 0561-84-1093 FAX 0561-85-0415
E-mail art@city.seto.lg.jp URL http://www.seto-cul.jp/

- 1 コーヒーセット/1774-98年/コーヒーセット/31.8cm/アルトワ伯製陶所
©RMN Grand Palais (Limoges, Cité de la céramique) / René Gabriel Ojeda / distributed by AMF
- 2 美の女神に支えられた籠/1830年頃/33.0cm/クサウ・ボザール製陶所
©RMN Grand Palais (Limoges, Cité de la céramique) / Frédéric Magnoux / distributed by AMF
- 3 《ベンヴェヌート・チェリニ》木製/1865年/33.7cm/ファンダン製陶所
©RMN Grand Palais (Limoges, Cité de la céramique) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF
- 4 《モンゴリアのセット》シュガー・ボット/1925年/33.0cm/ユグラン製陶所
©RMN Grand Palais (Limoges, Cité de la céramique) / Jean Gilles Berizzi / distributed by AMF